

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行なえていない。	重度化した場合や終末期のあり方について、入居する段階でどうしたいか本人(意思の表示ができる方)様、家族様に意向の確認を行なう。	入居契約時か入居時のサービス担当者会議にて意向の確認を行なう。既に入居されている入居者様については家族様の面会時やケアプラン更新時のサービス担当者会議にて以降の確認を行なう。	6ヶ月
2	14	管理者や職員が同業者と交流する機会がない。	安城市で開催されているグループホーム部会に出席する。	安城市で開催されているグループホーム部会に出席し、意見交換を行なう。	6ヶ月
3	22	サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローすることが出来ていない。	営業活動に出るときに施設外に移動入居された方の入居された施設に訪問し、現在の生活状況の把握を行ない、困っていること等の聞き取りを行ない、自施設ではどうしていたか等の情報提供を行なう。	営業活動に出るときに施設外に移動入居された方の入居された施設に訪問し、現在の生活状況の把握を行なう。	6ヶ月
4	5	市町村担当者と日頃から連絡を密に取ってはいるが、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えることが出来ていない。	運営推進会議に出席された際に施設内の取り組みを伝えるようにする。	運営推進会議に出席された際に施設のお便りを資料として添付し、施設内の取り組みを伝えるようにする。	3ヶ月
5	8	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会がない。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について勉強会を開催する。	e-ラーニング等で学べる資料を探す。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。